

No.128

# 緑の子

発行  
編集

鎌ヶ谷市青少年センター

☎ 273-0101

鎌ヶ谷市富岡1-1-1

(三橋記念館3階)

☎ 047-445-4393

## 青少年センターのさまざまな活動について ～補導活動について～

青少年センターでは、青少年を非行や有害環境から守るために、市内に80名いる青少年補導員の方々、学校、家庭、関係機関と連携を図りながら、補導活動、相談活動、環境浄化活動等の活動を通して、家庭や地域での青少年健全育成の意識を高めるよう努めています。

今回は、青少年センターの主な業務のうち補導活動について紹介いたします。

皆さんは「補導」というと「逮捕」されるのではと誤解されている方も中にはいらっしゃると思いますので、「補導」とはどんなことなのかをはじめにご理解いただきたいと思えます。一般的に誤解があるのは、補導の「補」と逮捕するなどの「捕」と混同されている方がいるかと思えます。

「補導」とは、「子どもたちを補い導く」ということが基本にあり、そこには、教育的な視点に立っているものです。具体的に補導活動は「大人が子どもを心配して、大人から子どもたちと関わりを持つとうとした活動」ということとなります。青少年センターでは、このことを基本に補導活動を行っています。

その種類として、『計画補導』『夜間補導』『随時補導』『広域列車補導』『隣接地域補導』等があり、期間、時間帯は次のとおりです。

### ◎計画補導

毎週 月、水、金の3日間

10月から翌年3月まで

15時30分から17時30分

7月から9月の3ヶ月間

16時から18時



イラスト 武藤 健史さん

### ◎夜間補導

7月から9月の3ヶ月間、

毎週金曜日

19時30分から21時30分

### ◎随時補導

青少年センターに寄せられた情報をもとに行うパトロール

### ◎広域列車補導

市内を通っている私鉄各線に、実際に乗車し、車内でのマナーについての指導や駅構内でのパトロール

### ◎隣接地域補導

松戸市、船橋市の青少年補導員の皆さんとそれぞれの街に出向いてのパトロール

### ◎班活動

青少年補導員80名の皆さんが5つの中学校区に分かれて、それぞれの中学校区内のパトロール

こうした活動により、子どもたちが非行に走る前の、問題行動が表れる段階で早期に把握し、必要な注意、助言、指導等を行う等して、子どもたちがより深刻な状況になる前に支援していくことが青少年センターの役割と心得、活動を行っております。

また、学校、警察、青少年健全育成団体などと情報交換を実施し、情報の共有化や問題解決に向けての連携を強めています。

青少年を取り巻く環境は年々多様化しており、学校や家庭単体での解決は難しくなってきたように感じます。

青少年に関わるあらゆる機関と地域が連携し、広い視野と多くの目で見守っていくことが重要と考えます。

市民の皆様には、子どもたちが安心して安全に暮らせるために、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



イラスト 武藤 健史さん

相談活動は私たちが対応しています

青少年センターでは、子ども本人からはもちろん、保護者の方からの、非行、いじめ、交友関係、進路など、様々な悩み相談に対応しています。

学校の事、友だちの事、いつでも相談に来てください！



プロジェクトマネージャー  
石井 誠一

社会教育指導員  
小寺 辰男

プロジェクトマネージャー  
石井 惟四

青少年センター所長  
千葉 仁

社会教育指導員  
木村 徳子

## 青少年センター

～ひとりで悩まず  
一緒に考えましょう～

○「こども110番の家」、非行、補導、  
情報など  
TEL 047-445-4393  
FAX 047-445-4317  
E-mail  
seisyonen@city.kamagaya.chiba.jp

○悩み事相談  
TEL 047-445-4307

☆相談日…月～金  
9時から 16時

☆秘密は守られます

# 県下一斉合同パトロールを実施

## 77人で市内をパトロール

8月1日(木)午後6時から鎌ヶ谷市内全域で県下一斉合同パトロールを実施しました。青少年補導員連絡協議会、鎌ヶ谷警察署及び東葛地区少年センター、鎌ヶ谷警察署少年警察ボランティア連絡会、青少年センター、合計77人が参加。中学校区5班に分かれ、青少年が多数集まる店舗などをパトロールし、書店、コンビニ、スーパー、ゲームコーナーの方から最近の子どもたちの様子について様々な情報が得られました。

パトロール中、啓発用うちわとポケットティッシュを少年に渡すと、「ご苦労様です！」と激励の言葉を掛けられ、暑い中、励みになりました。

パトロール後の情報交換会では、参加した補導員の方から、「補導員として意識が高まった」「補導員同士のコミュニケーションが図られた」等という感想がありました。また、警察及び関係団体の方からお話で、「少年犯罪は、取締りだけではなく、犯罪を未然に防ぐための、見せる活動はとても重要です。このような活動は警察だけでは出来ないものなので、今後とも協力お願いします。」との言葉から、改めて、腕章着用、青色灯を回して行うパトロールの重要性を認識しました。

暑い中、お忙しい時間にご参加いただき、本当にありがとうございます。これからも地域・警察・学校が連携し、青少年健全育成のため「愛のひと声」のご協力をお願いいたします。



### 子どもの「心の声」に気付いて！ 講演『思春期における自傷行為の 理解と対応』から

先日、児童精神科医 長谷川信也先生の講演会で、興味深いお話を聞く機会がありましたので、抜粋してお伝えします。

#### ○自傷行為とは

自殺の意思なしに、故意に、身体を傷つけること。

#### ○自傷行為といわれるもの(リストカットだけではない)

- ・自殺企図
- ・リストカット
- ・多量服薬
- ・脱毛
- ・爪かみ
- ・ニキビつぶし
- ・ピアス
- ・拒食
- ・過食
- ・アルコール
- ・薬物
- ・喫煙
- ・タトゥー
- ・暴走行為
- ・集団での喧嘩
- ・援助交際 など



自傷行為の背景には、様々な事柄があります。例えば、人間関係、親子関係、病気、精神不安定、いじめ、虐待、過干渉、ストレス、性格…。なぜ自傷行為をしたのかを考えたとき、多く見受けられるのは、「健康な自己愛」(自分を大切にするといいこと)が欠如していることです。自尊心がなくなり、どうせ自分なんて…と考えるようになります。それは、心に大きく影響を与え、次第に心が傾いてしまいます。内向きに傾いた場合ひきこもりや自傷行為と表れ、逆に外向きの場合、反社会的行為をするようになってしまいます。

#### ○自傷行為をした理由の多く

- ・リストカット：イライラ、モヤモヤがすっきりした
- ・多量服薬…心の痛みを(眠ることで)リセットしたかった
- ・タトゥー…自分の体を自分でコントロールしているという証

自傷行為自体は正しいことではありませんが、「鎮静作用」「心の痛みが和らぐ」「新しい自分になりたい」「自立して大人になりたい」等、その人にとっては意味があります。

このような自傷行為、反社会的行為は、赤ちゃんの泣き声と同じで、強烈に何かを訴えてきているのです。それを、私たち大人が、言葉にする手助けをしてあげることが必要です。

自傷行為をした人のほとんどは、誰かに相談したことがないと言うそうです。「相談することは恥ずかしい」「相手に迷惑になってしまおう」と思っている人が多く、相談できないのです。結果、耐えきれなくなり、自傷行為に及んでしまう…

自傷行為に至る前の段階で、家庭、学校、地域の大人が、「心の声」に気づいてあげたいと、願っています。そして、勇気を持って相談してくれたら、『あなたは大切な存在なんだ』ということを伝えてあげましょう。

平成25年4月～9月の補導状況(9月25日現在)  
◆補導実施状況

補導別	補導回数	補導従事者				計
		補導員	学校	職員	その他	
計画補導	71	98	18	2	199	
夜間補導	11	14	5	14		33
随時補導	68			95		95
行事特別補導	11			30		30
市内一斉補導	1	51	8	8	12	79
列車補導						
特別補導						
隣接補導						
合計	162	163	31	228	14	436

平成 25 年度 青少年補導員の皆さんを紹介します !!

鎌ヶ谷市では、教育委員会から委嘱を受けた『青少年補導員』が青少年の健全育成のために地域活動、市内全域活動を行っています。

鎌ヶ谷中学校区



第二中学校区



第三中学校区



第四中学校区



2年間、よろしくお願ひします !!



第五中学校区



Table listing staff members across five school districts: 鎌ヶ谷中学校区, 第二中学校区, 第三中学校区, 第四中学校区, and 第五中学校区. Columns include names, positions, and district names.

◆補導の内訳

Table showing the breakdown of guidance activities by category (e.g., bicycle riding, smoking) and student level (elementary, middle, high school).

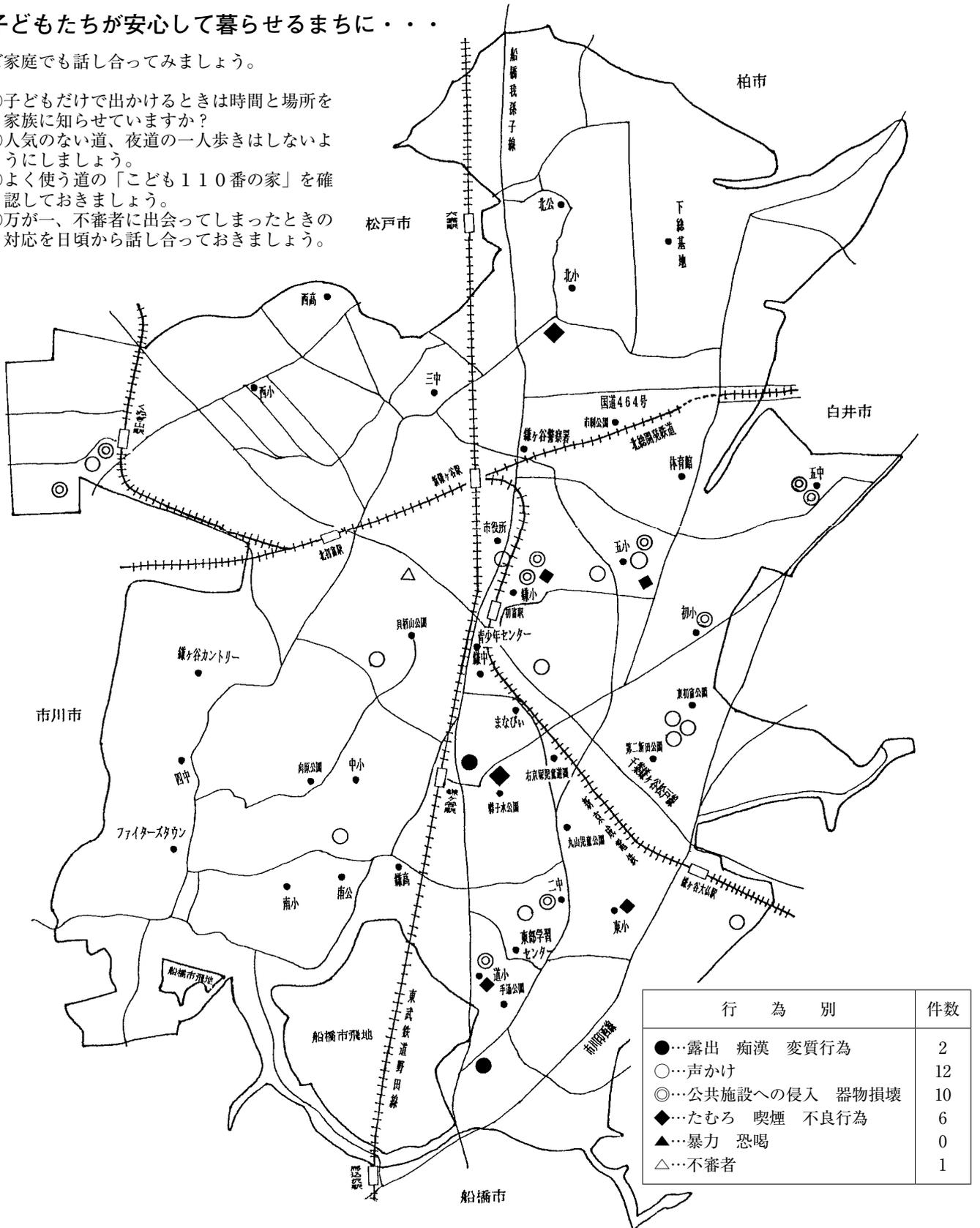
4月から9月の補導状況は表のとおりです。
※本年度(4月~9月)は162回、延べ436人が補導活動を行いました。
※声かけしたのは、高校生が最も多く107人、次いで中学生の101人です。
※行為別では、自転車二人乗りが128人と最も多く、たむろ、喫煙と続きます。

# 平成25年度 子ども防犯マップ (4月～9月)

子どもたちが安心して暮らせるまちに・・・

ご家庭でも話し合ってみましょう。

- 子どもだけで出かけるときは時間と場所を家族に知らせていますか？
- 人気のない道、夜道の一人歩きはしないようにしましょう。
- よく使う道の「子ども110番の家」を確認しておきましょう。
- 万一、不審者に出会ってしまったときの対応を日頃から話し合っておきましょう。



行 為 別	件数
●…露出 痴漢 変質行為	2
○…声かけ	12
◎…公共施設への侵入 器物損壊	10
◆…たむろ 喫煙 不良行為	6
▲…暴力 恐喝	0
△…不審者	1